

## 豊中駅前まちづくり推進協議会エリア内における建築等について

### 【1】 豊中駅前地区の現状

豊中駅前地区は、千里中央地区や庄内駅前地区と並ぶ市の中心核として発展してきましたが、地区内の人口の減少や高齢化、交通渋滞による車利用の不便さなどから、商業地としての活力が陰りつつあり、また阪神・淡路大震災での各地の事例を通じて、老朽化した木造家屋の危険性や広い道路がないため、救急車や消防車等、緊急車両が寄りつきにくいなど、住宅地としての問題も生じています。

### 【2】 豊中市と地区住民の取組み

豊中市は豊中駅前地区を、市の総合計画で都市活動の拠点となる中心核と位置づけ、「産業振興ビジョン」、「豊中都心ゾーン形成のための基本方向」などを通じ、同地区の整備の方向性を検討・提案してきました。さらに、市民の自発的なまちづくりを支援するため「まちづくり条例」を策定し、地区まちづくりに取り組んでいる地元住民の組織「豊中駅前まちづくり推進協議会」が、条例に基づく「まちづくり協議会」に認定され、まちづくり活動をされています。

### 【3】 豊中駅前地区のまちづくり

豊中駅前地区には、豊中駅前まちづくり推進協議会から提案された「豊中駅前まちづくり構想」(1995年)と、その実現化の方策をまとめた市の「豊中駅前のまちづくりについて(基本方針)」(1997年)があり、豊中駅前の魅力を高めるため様々な事業が示されています。特に、まちの魅力を低下させている「快適な歩行者空間の不足」と「慢性的な交通混雑」を解消するには、道路網の再編による都市基盤の再整備が重要課題となっています。

### 【4】 旧都市計画道路南吉野線の延伸(駅への新道)

豊中駅前まちづくり推進協議会では、「快適な歩行者空間の不足」と「慢性的な交通混雑」を解消するため、「旧都市計画道路南吉野線の延伸」と「銀座商店街のモール化」に取り組んでいます。

「旧都市計画道路南吉野線の延伸」を行うことにより、ボトルネックとなっている変形 T 字路の豊中本町南交差点を正形十字路に改良し、交差点処理能力を高め「慢性的な交通混雑」の解消を目指しています。また、このことにより、円滑な交通処理ができ、銀座商店街のモール化が実現可能となり、「快適な歩行者空間」の確保が図れます。

### 【5】 市道豊中本町 54 号線(けやき通り)の整備

地区内の主要道路である市道豊中本町 54 号線(通称「けやき通り」)の整備についても、力を入れています。この通りは、狭い幅員の道路で、歩行者・自転車・自動車が錯綜しており、非常に通行しにくい状況になっています。豊中駅前まちづくり推進協議会では、2002 年度に「けやき通りの整備計画」を作成し、その中で具体的な整備イメージを示しています。

### 【6】 再開発や建物の共同化

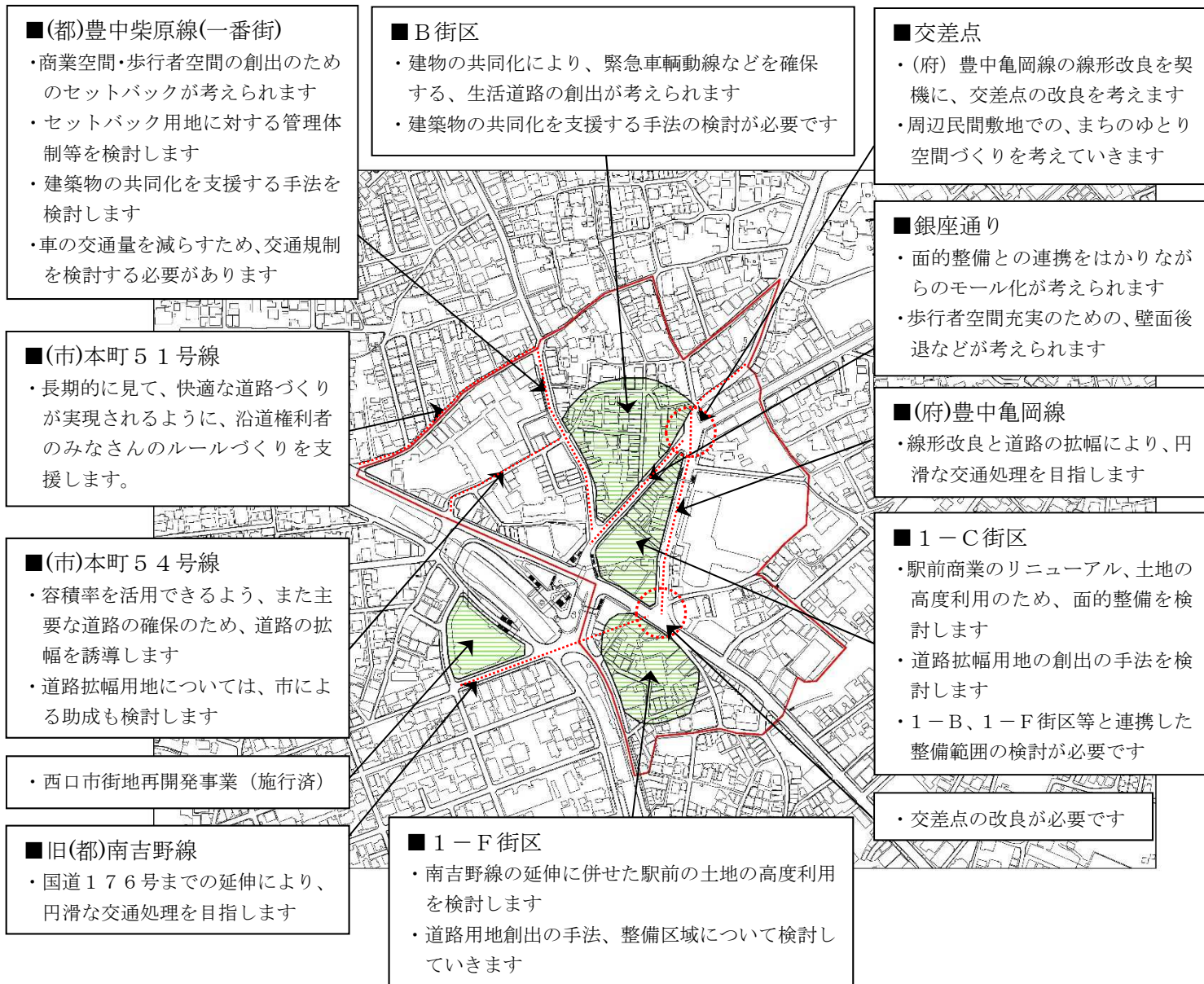
道路整備と並ぶ豊中駅前地区の大きな課題は、再開発や共同化による土地の高度利用や防災機能の強化です。基本方針においては、商業施設が集積している「1-C 街区」、住宅街が多く占める「1-B 街区」、旧都市計画道路南吉野線の延伸部である「1-F 街区」がその対象となっています。

### 【7】 その他

上記以外にも、都市計画道路豊中柴原線(通称「一番街」計画道路幅員 12m)での、建物のセットバックによる商業空間や歩行者空間の創出、市道豊中本町 51 号線(通称「音楽の道」)の拡幅整備などが方針化されています。これらを実現するには、新たな土地利用が図られるときに、「豊中駅前まちづくり構想」や「豊中駅前のまちづくりについて(基本方針)」の趣旨に沿った事業計画を進めることが重要となります。

当地区内で事業計画等を計画される場合は、豊中駅前まちづくり推進協議会と事前に協議することをお願いいたします。地区の住民の方々が、取り組んでおられるまちづくりが実現できるよう、事業主の方々のご協力をお願いいたします。

【まちづくり方針図】



[協議窓口] 豊中駅前まちづくり推進協議会  
 事務局長 小林 和久  
 豊中市本町1-12-25 まちづくりセンター内  
 TEL 06-6852-7661 FAX 06-6852-7674

詳しくは、下記までご相談ください。

問い合わせ先

豊中市 都市計画推進部 都市計画課 地区まちづくり係  
 第二庁舎 4階 TEL 06-6858-2197